

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査日	2018 年	11 月	4 日	記入者	久門たつお
調査者名	小倉	久門	仲谷		

調査対象先	平区(旧・平等寺)				
所在地	吉野郡野迫川村平、「平維盛(これもり)歴史の里」内			電話番号	
代表者 調査対応者	南谷俊廣区長				
対象文化財	彫刻	県指定:	1 件	国宝:	件
	建造物	県指定:	件 棟	国宝:	件 棟
				重文:	件
				重文:	件 棟

地震対策

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済 <input type="radio"/> B:一部実施済 <input checked="" type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	
	今後の予定	
	要望	
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他( )
	今後の予定	特にない。
	要望	県指定の木造釈迦如来坐像を安置する旧平等寺施設は40年ほど前に旧平等寺本堂を建て替えて新築した。木造タン葺きで地震対策は行っておらず、行政に対策支援要望を検討したい。

防火対策

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済 <input type="radio"/> B:一部実施済 <input checked="" type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	
	今後の予定	
	要望	
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他( )
	今後の予定	旧平等寺施設近くの消防団平支部倉庫に消火器を配備しており、万が一の時はこれを使用する。
	要望	火災感知器や火災報知機など防火設備は必要と考えているが、平区には現在の常住は3世帯しかなく、地域で費用を工面するのは難しい。行政に対策支援要望を検討したい。

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先 平区(旧・平等寺)

獣害・白アリ等の対策

① 獣害等被害	<input type="radio"/> A: 経験あり	<input checked="" type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答がAの場合	どのような被害か	
③ 今後	今後の予定、要望	地区でサル、シカなどが出没し農作物に被害は出ているが、収蔵施設に影響はない。

県指定の木造釈迦如来坐像(鎌倉時代制作)



木造釈迦如来坐像(中央)と弘法大師坐像(右)など



木造釈迦如来坐像などを安置する旧平等寺施設



玄関に平等寺の額を掲げる旧平等寺施設



旧平等寺施設の畳敷きの屋内



【調査票記入者(久門たつお)の感想】

人口が400人を割り込み、県内最少の野迫川村。地区は過疎が進む一方で、現在の常住は3戸だけ。県指定の仏像を安置する旧平等寺の施設は築約40年で、耐震構造ではない。行政のバックアップが求められる。